

上段の丘



一関市立川崎中学校 学校だより
令和7年5月13日 第5号
文責 校長 斎藤 真

熱を帯びる体育祭取組

ゴールデンウイークが明け、体育祭に向けた練習や組団活動が本格化し、一つひとつの取組にも力が入ってきました。生徒同士の挨拶は、元気な「こんにちは」から気合の入った「押忍！」へ。仲の良い先輩後輩から、良い意味での上下関係がある先輩後輩へ。遠慮がちで確かめるように取り組んでいた全体練習は、競技にも応援にも力が入った全体練習へ。一緒に頑張ろうと優しい笑顔が多かった組団活動は、一緒に勝とうと励まし鼓舞し合う笑顔が溢れる組団活動へ。取組を通じて、一人ひとりの顔つきや表情や態度や言動が、どんどん上級生らしく、どんどん中学生らしくなっています。日々成長する生徒の皆さんを見ながら、改めて中学生の成長の早さに驚くと共に、川中生らしく健やかに伸びやかに育つ姿に頼もしさを感じております。



そんな体育祭取組真っ只中で、とても感心していることがあります。それは、行事に熱中しながらも、日常生活を疎かにしていないところです。切り替えをしっかりとしていることが多いです。特に清掃。短い時間でも、集中して、丁寧に清掃に取り組む姿が印象的です。こういう姿勢が、きっと素晴らしい体育祭につながっていくのだと思います。さあ、いよいよ今週末！「彩心」で描かれる体育祭、乞うご期待です。

